応援団旗を母校に贈りました

応援団旗を披露する宇治幹事長・加藤会長・前田副会長

東高応援団はしばらくその活動が途絶えておりましたが、昨年(2015年)応援団の再興を果たしております。

それを記念して昨年秋に同窓会より応援団旗を寄贈しました。

各種大会開催時は壮行会にその姿を見せ、選手の皆さんを大いに鼓舞しています。

これからも在校生の活躍に力を与えてくれることでしょう。

合唱部 OBと在校生の交流

合唱部では毎年開催する定期公演で、在校生の発表とともにOBが参加しての合唱が披露されます。写真は昨年(2015年)定期公演の模様です。

曲木先生の指揮により、先輩と在校生の交流する歌声は暖かなハーモニーとなって会場に響き渡っていきました。

同窓会事務局から

会費について

年会費は同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。

年会費は毎年1,000円で総会開催時に払い込んで頂くほか随時受け付けています。

会員の皆さまには総会欠席の場合でも年会費を払い込んで頂くよう、特段のご協力をお願い致します。

同窓会への連絡・質問・意見はこちらにお寄せ下さい

住所・電話・メールアドレス・勤務先などを変更された時の連絡や、同期会の開催結果連絡、会報の送付希望、その他ご意見などは下記の連絡先またはメールアドレスにお寄せ下さい。

北海道札幌東高等学校同窓会事務局　〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目(札幌東高等学校内)
☎ 011-831-6332　FAX 011-811-3952
事務局担当　吉岡・清水・曲木・望月・彫部・原田
メールアドレス　info@sh-dousou.jp
(同窓会HPからも送信できます)

編集スタッフより

会報第44号をお届けします。

表紙には高女時代の校舎平面図を中心に各時代の校舎写真を配しました。

記事では母校と同窓会、在校生とOBのきずなにもフォーカスしました。

今後ともこの会報が広い同窓世代の架け橋となるよう注力して参ります。

お忙しいなか多くの方に原稿をお寄せいただき、大変有難うございました。

編集長　広報部会　野坂美由紀(東高27期)以下数字のみの期は東高
相沢　徹(15期、広報部会長)
小林　幸子(一高1期)
編集委員　鹿川　未代(37期)　陣内　幸則(9期)　村木　昭彦(27期)　小田原史佳(31期)
賀好　史織(59期)　小屋畑みずき(60期)　春名恭太朗(63期)

●投稿・新規特集のアイデア・ご意見などお寄せください。●会報編集に携わりませんか。若い世代の方大歓迎です。

同窓会 この1年間の活動　平成27年7月1日～平成28年6月30日

■総会開催と関連活動

総会は本同窓会最大のイベントです。昨年は下記の通り開催しました。別掲記事もご参照下さい。

第106回同窓会総会　テーマ『車輪 ―よき庭に若き日々を―』

平成27年8月22日(土)午後6時総会、6時30分懇親会／於　東京ドームホテル札幌

・総会に先立ち7月7日(火)に拡大幹事会を開催して議案事業審議と会券配布を行いました。

■母校の活動・行事への協賛

・第66回東高祭　平成27年7月3日(金)・4日(土)に同窓会ルームを開設しアルバム・パネル展示、ペナントの販売実施のほか、在校生・来訪者に飲み物を提供しました。

・母校支援として、学友会活動への助成、職業人に聞く会への講師派遣、難関大探訪時の旅費支援、応援団旗の寄贈などを行いました。

・在校生の皆さんに先輩の著作を紹介すべく、同窓生ライブラリー(札東文庫)の開設準備を進めています。

■情報発信・コミュニケーション強化

・昨年の総会開催に合わせて同窓会報第43号を発行しました。

・同窓会ホームページを開設しており、行事の開催などに合わせて記事をアップしています。

・第35回札幌東高校同窓会ゴルフ大会を開催しました。見開きページの記事をご参照下さい。

平成28年6月16日(木)／札幌芙蓉カントリーC

・「会員名簿」について平成29年発刊を目指しデータの調査・確認を行っています。

・同期会開催ごとに開催各期に助成しています。

・東京同窓会の総会に校長・会長・幹事長が参加、会報で東京・函館の活動を紹介しています。(見開きページ)

■新人の育成

・新入会員入会式を平成28年2月29日(月)に開催、66期卒業生への新幹事委嘱、卒業記念品の贈呈を行いました。

・新幹事研修会を平成28年5月14日(土)に開催しました。下記記事をご参照下さい。

第66期生 新幹事セミナー

平成28年新幹事研修会が5月14日(土)夕刻、例年通りホテルノースシティで開催されました。

加藤会長の挨拶に始まり、今年の総会実行委員からの準備状況報告のあと宇治幹事長の説明で研修が始まりました。

同窓会の仕組み・活動内容の説明、清水先生からの母校近況報告など、今春卒(66期)新幹事の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

その後懇親会に移り、出席者全員の自己紹介ではやや緊張をまじえながらもフレッシュに自己アピールした新幹事の皆さんでした。

新幹事代表の方は、7月の東高祭や8月の総会に参加して今後母校の発展に寄与していきたいと力強く語ってくれました。

札東文庫にご寄贈下さい

在校生の皆さんに先輩OB・OGとの親近感を持っていただくことを企画し、母校に同窓生が発行した書籍を展示するコーナー(仮称「札東文庫」)を設けようと準備を進めています。

これまでに10件近くの書籍を頂戴しており、引き続きご寄贈を仰いでおりますので宜しくご協力をお願い致します。

・書籍の種類：同窓生が主筆となっているもの(自費出版でも構いません)
・書籍の数：お一人3点以内、各1冊(多くの書籍を出されている方は、書籍のリストをご提出ください)
・寄贈先(送り先)：〒003-0809
札幌市白石区菊水9条3丁目北海道札幌東高等学校内 同窓会札東文庫準備室
(なお勝手ながら、御寄贈の送料についてはご負担をお願い致します)

おくやみ

昨年からこれまでにお亡くなりになった方々は次の通りです(判明分・敬称略) 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

渡邊 芳子(高女14期)　鈴木 敬子(高女 卒業期不明)　櫻田佐和子(一高 2期)　西谷 真樹(東高 2期)
原田 拓光(東高 2期)　松村 肇(東高 2期)　濱 純夫(東高 2期)　梅沢 亜子(東高 2期)
加藤 博道(東高 2期)　中里 一英(東高 2期)　長澤 健作(東高 9期)　小野寺義弘(東高 9期)
小林 孝子(東高15期)

※同窓会員の訃報は事務局にご連絡ください(最終面に連絡先記載)

会計報告

平成27年度決算(H27.7.1～H28.6.30)

一般会計

(収入の部)

科目	予算額	決算額	増減	摘要	平成28年度予算 予算額	増減(対H27予算)
前年度繰越金	520,140	520,140	0	前年度繰越	447,455	▲72,685
新入会員会費	1,590,000	1,590,000	0	卒業生318名×5,000円	1,590,000	0
会費	500,000	421,790	▲78,210	年会費402名 終身会費2名	420,000	▲80,000
支援協力金	40,000	43,400	3,400	東京同窓会 会報印刷負担金	40,000	0
雑収入	899,860	641,469	▲258,391	総会準備金戻入 余剰金 名簿・ペナント販売ほか	652,545	▲247,315
合計	3,550,000	3,216,799	▲333,201		3,150,000	▲400,000

(支出の部)

科目	予算額	決算額	増減	平成28年度予算 予算額	増減
事務費	70,000	44,520	25,480	50,000	▲20,000
事務用品費	20,000	22,360	▲2,360	20,000	0
印刷費	100,000	71,452	28,548	80,000	▲20,000
通信費	200,000	161,806	38,194	160,000	▲40,000
慶弔費	130,000	150,000	▲20,000	130,000	0
[illegible]	750,000	656,790	93,210	700,000	▲50,000
総会開催費	300,000	300,000	0	300,000	0
会報発行費	250,000	226,044	23,956	230,000	▲20,000
[illegible]	170,000	141,494	28,506	150,000	▲20,000
同期会等助成費	180,000	103,564	76,436	150,000	▲30,000
[illegible]	280,000	273,704	6,296	280,000	0
体育文化助成費等	50,000	50,000	0	50,000	0
母校行事助成費等	450,000	251,958	198,042	300,000	▲150,000
[illegible]	150,000	53,136	96,864	120,000	▲30,000
特別会計積立金	200,000	200,000	0	200,000	0
予備費	250,000	62,516	187,484	230,000	▲20,000
合計	3,550,000	2,769,344	780,656	3,150,000	▲400,000

摘要：交通費 アルバム(記録保存用) ／ ラベルシート インク プリンター ／ 封筒(角2,3) タックラベル データ整理代 ／ 慶弔 供花等 ／ 転出退職者餞別 メール便郵送料 ／ 役員会・顧会議経費 寸志(会長分2件) ／ 本年度総会準備金 東京同窓会総会出席交通費 ／ 会報第43号印刷費 ／ 学校協賛費 (A4 PB 3,500部) ／ 同期会・ゴルフ大会助成(10期 他) ／ 体文[20,000円] 学友会[30,000円] 応援団旗 卒業記念品 ／ ホームページ更新費用 ホスティング料金 ／ 積立金(特別会計口座へ) ／ 事務局用ノートPC 旧名簿データ処理費

差引の部

収入額合計	3,216,799	
支出額合計	2,769,344	
差引残高	447,455	
備考	次年度に繰越し	

特別会計積立金決算

科目	26年度末繰越額	増額 金額	増額 事由	減額 金額	減額 事由	27年度末決算額
特別会計積立金	2,944,155	200,000 90	一般会計より 利息	540	振込手数料	3,143,705
[illegible]	3,010,408	50,000	PTA助成	540	振込手数料	3,059,868
合計	5,954,563	250,090		1,080		6,203,573

(単位：円)

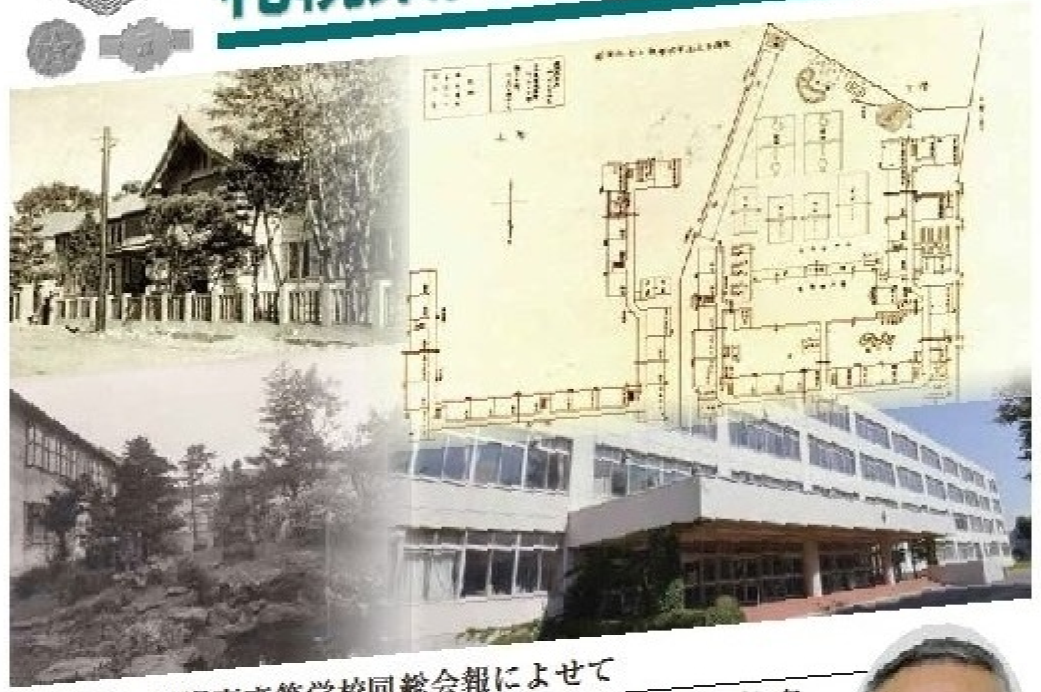
同窓会役員名簿 (数字のみの期は東高です)

平成28年8月現在

役職	氏名	期
顧問	[illegible]	[illegible]
相談役	[illegible]	[illegible]
会長	[illegible]	[illegible]
副会長	[illegible]	[illegible]
幹事長	[illegible]	[illegible]
副幹事長	[illegible]	[illegible]
監査役	[illegible]	[illegible]
常任幹事	[illegible]	[illegible]
事務局	[illegible]	[illegible]

平成28年8月　第44号
札幌東高等学校同窓会

札幌東高等学校同窓会報



第44号　札幌東高等学校同総会報によせて

北海道札幌東高等学校同窓会 会長 加藤　敏彦

第44号札幌東高等学校同窓会報の発行に当たり、ご挨拶申し上げます。

まず、同窓会会員の皆様には本同窓会に、日頃より温かいご支援ご協力をいただいておりますことに、この紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます。

さて、多くの方々は、大学、高校、小中学校のそれぞれの同窓会に出席をされているのではないかと思います。その中でも、高校の同窓会は、記憶に残る思い出も多く、人生を左右する出来事に遭遇した経験など、多感な時期を共にした仲間たちと再び出会う事の出来る、すばらしい機会だと思っております。

さらには、わが校は明治、大正、昭和から平成の現在まで続く歴史と伝統があり、なかには、親子・兄弟まで東高といったつながりにまでその縁を深めている同窓生がおります。

同窓会の会場に入った時から、あたかも自分たちが過ごした高校生活に戻ったような感じになり、見目形は変わっていても、昔と同じように会話が弾んでいきます。

何年か前の懇親会のタイトルに「タイムスリップ」というのがありましたが、高校時代に戻り、友と過ごした共通の時を楽しんでいるのではないでしょうか。

歴史が増すにつれて、卒業生も増えますが、同時に歴史を刻んだ量も増えます。

今後も、わが校の伝統と歴史を受け継いで次につなげていけるのは、現役の高校生であり、校長先生をはじめとする教職員の方々のご努力であります。

札幌東高校同窓会は、これからも現役高校生や教職員の皆さんを支えていかなければなりません。そのことが、母校への支援であり、自分たちの今に対する恩返しだと思います。

現在、札幌東高校は校舎の老朽化、学習内容の多様化、少子化の影響など様々な問題に直面しております。そのために、同窓会会員の皆様方におかれましては、これからも引き続きのご支援、ご協力が必要であります。

はなはだ言葉足らずではありますが、北海道札幌東高等学校のますますの発展と同窓会会員皆様のご多幸を祈念致しまして、同窓会報発行に当たっての挨拶とさせていただきます。

■同窓会のホームページを開設しています■　http://www.sh-dousou.jp

全ての世代が、新たな「学び」動機に移行する転換点

北海道札幌東高等学校長　後藤　哲

同窓の皆様には、ご壮健でご活躍のこととお慶び申し上げます。第44号北海道札幌東高等学校同窓会報の発行に当たり、ご挨拶申し上げます。

平成28年度も知・徳・体の調和のとれた人材育成をめざし、教職員一同、教育活動に全力で取り組んでいます。それに呼応し、生徒も主体的・能動的な学習を身につけるべく、基礎学力はもちろん、思考力、判断力、表現力に磨きをかけているところです。ぜひお気軽にお越し頂き、頑張る生徒を応援ください。

生徒と同様、成人した私たちにも「学び」の継続は、キャリア発達の観点からも大切なことと思っています。今の楽しみを我慢し、明日のために学習することは、経済では投資に当たります。先々のリターンを長期にわたって期待できる若者が、学習という投資に励み、リターンを必要としないシニアが、学び自体を楽しむ消費に向かうのは、世の教育論的・投資論的にも理に叶っています。

ある調査によると学習という投資を止めてしまうのは、43～47歳のミドル層ということです。組織の最前線で多くの若手を預かる世代が、多忙な状況下で学ぶ意欲が触発されない状態に陥っているのは、危機的な状態です。学習に対する投資がピークに達したり、リターンが期待できないこと自体を学習してしまい、学習しようとする動機を喪失してしまうようです。こうして、キャリア展望に格差が生まれ、学び続ける人とそうでない人が生まれ、多様化するようです。

どのような世代でも、新たな学習動機へと移行する重要な転換点と捉えることが大切なのだと私自身痛感します。是非、皆様も高校時代を思い出し、「学び」への動機付けを再稼働し、ブラッシュアップ頂ければと思っています。

学校の評判の蓄積は、レピュテーション・キャピタル（評判によって築かれた無形資産）となり、いざという時に学校を守ってくれる防波堤となり、東高ブランドとなっています。

創立109周年を迎えた本校の歴史と伝統に敬意と感謝の念を心に刻み、今後とも本道を代表するリーダー高として、変化する時代を逞しく生き抜く人材の育成に努めて参りますので、同窓会の皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げご挨拶と致します。

『母校は今』

部活探訪　演劇部の状況

演劇部顧問　吉岡和彦

演劇部は現在、2年生6名、1年生3名の計9名で活動しています。部員は全員女子です。演劇は大道具作りや力仕事も多いこと、また、もちろん男子の役者も欲しいことから、生きのいい男子の入部を切望していますが、残念ながらいまのところ叶っていません。女子だけでできる台本をさがして練習に励んでいます。

公演は、4月の新入生歓迎公演から始まり、廊下劇、学校祭公演、高文連、クリスマス公演など、年間数回にわたる多様な劇に取り組んでいます。　写真はつい先日行われた学校祭公演（刑事物）の様子です。技術的にはまだまだですが、全員毎日体育系の部活に負けないくらい一生懸命練習に取り組んでいます。

学校祭、クリスマス公演等は一般公開もしていますので皆さん是非足をお運び下さい。

平成28年度前期　部活動　主な大会への出場

●高体連・高文連全道大会出場
女子バレー部　男女ソフトテニス部　体操部
卓球部　剣道部　陸上部　水泳部　放送部

●全国大会出場決定
陸上部　文芸部　放送部

卒業生の主な進学先

卒業時期	国公立大学 道内	(北大)	道外	(東大)	合計	私立大学 道内	道外	合計	短大・各種学校	就職
平成28年3月	94	40	42	0	136	37	26	63	8	2
平成27年3月	128	75	42	0	170	47	18	65	8	0

母校のホームページを開設していますので、詳しい戦績・進路先などはHPをご覧下さい
http://www.sapporohigashi.hokkaido-c.ed.jp/

早くも1年・・・。

第106回札幌東高同窓会実行委員長　32期　山崎　量平

第106回市立高女、市立第一、札幌東高同窓会総会・懇親会は、平成27年8月22日（土）、東京ドームホテル札幌にて370名を超える恩師・同窓生の出席のもと盛大に開催されました。

開催に向け、1月に実行委員会を立ち上げて以来、東高32期、46期、55期の当番期実行委員が数々の打ち合わせを重ね、一丸となって準備を進めました。

同窓会のテーマは多数決により「東輪（とわ）～よき庭に若き日々を～」に決定しました。旧校舎の象徴であった「中庭」を新校舎世代にもイメージしてもらいつつ、今後も東高同窓生の輪（繋がり、絆）を大切にしたいという思いを込めました。

そして、迎えた8月22日の本番では、懇親会冒頭の挨拶で、私が緊張のあまり話す内容を間違えてしまい、冷や汗をかきながら何とか取り繕ってしまいましたが、18期の先輩達を中心とした「OJI－BAND（オジバンド）」によるミニライブや東高応援団OB有志による演舞が宴を大いに盛り上げてくれました。

この様に無事懇親会を開催し、実行委員長の大役を果たすことができたのも、加藤同窓会長、宇治幹事長、東高の吉岡先生をはじめ、恩師、同窓生の皆様、そして実行委員を引き受けていただいた当番期有志のご支援・ご協力の賜であり、改めて心から感謝を申し上げます。

今年度の第107回同窓会・懇親会も盛会となるとともに、今後も益々、東高同窓会が発展していくことを祈念申し上げます。

同期会開催状況

数字のみの期は東高です

平成27年	9月5日	19期	ニューオータニイン札幌
平成27年	10月5日	6期	札幌東急REIホテル
平成27年	10月9日	一高2期	ホテルノースシティ
平成27年	10月23日	7期	札幌第一ホテル
平成28年	5月28日	14期	東京渋谷(写真)
平成28年	6月5～6日	5期	三川屋会館
平成28年	6月6～7日	8期	湯本第二名水亭
平成28年	6月29日	2期	三川屋会館

14期同期会（東京渋谷）

14期ではHPを開設しています。
http://stonko14.welcomey.jp/
ほかの期でもHPを開設されましたらURLをご連絡下さい。

●助成金について
同期会の開催には交流拡大を目的とした助成金制度があります。ぜひご利用ください。
・基準:卒業期全体を対象とする同期会とし、年1回に限る。(地域又は一部を対象とする会は除外)
・金額:1回につき1万円(ただし初回のみ3万円)
・手続:同期会開催通知(案内状等)に参加(予定)人数と銀行振込口座を付記して、事務局へ郵送またはファックス送信する。振込先は、同期会代表者または会計担当者とする。
※同窓会事務局の連絡先は最終面「同窓会事務局から」を参照

●開催結果は　同窓会メールアドレス　info@sh-dousou.jp　または事務局にご寄稿ください。

第67回東高祭の同窓会展示ルーム

<7月8日・9日>

いつもながら卒業アルバム展示が大人気です！

在校生は趣向を凝らしたファッションで訪れてくれました

※毎年7月上旬の東高祭に同窓会展示ルームを開設していますのでぜひおいで下さい。

函館だより

栗畑 憲次郎（15期）

昨年10月24日（土）に平成27年度（第75回）の札幌市立高等女学校、札幌市立第一高等学校ならびに北海道札幌東高等学校の同窓会函館支部総会・懇親会が、古川佑子支部会長ほか5名の会員出席のもと、函館市豊川町の欧風料理屋「紫ぜん」において開催されました。

「紫ぜん」は、明治期から函館の港として栄えてきたベイエリアの明治館向かいにある蔵造りが魅力のお店です。窓越しに見える通りには外国人観光客が多数行き来して、大変賑わっている様子がうかがえました。

掘りごたつの和室にてテーブルを囲んでの総会に引き続いて懇親会へと進められました。

今回も急きょ欠席の方がおられ少人数ではありましたが、支部会員の動向などを皆様で確認し合った後、一年間の近況や趣味・旅行の話、また健康・体調の話やご家族の話など大変盛り上がった楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

会の終盤には、翌年の同窓会函館支部開催に向けた意見交換へと移り、特にご高齢の先輩の体調を考慮しての開催時期や時間帯の再考を次回役員会で検討することとして、閉会いたしました。

また待望の北海道新幹線が3月26日に開通し、歴史の街・温泉とグルメの街函館は、本部同窓会・東京同窓会の皆様方のお越しをお待ちしております。是非ご来函ください！

末筆ですが、本部並びに東京同窓会のご繁栄と皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。

第35回同窓会ゴルフ大会

ゴルフ部会長 19期 三上 義行

6月16日（木）札幌芙蓉CCにて17組58名が参加して盛大に開催。

少しの雨と、多少の風のもと1期から32期までの同窓が楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

同窓会よりのご寄付ありがとうございました。

＜個人戦＞
優　　勝:中澤　弘志（16期）　Gross90、Hdcp18.0　Net72
準 優 勝:吉嶋　公人（16期）　Gross92、Hdcp19.2　Net72.8
ベスグロ賞:森　　成一（21期）　Gross85

＜団体戦（Best3合計）＞
優　勝:12期A（庵原安章、小西正保、小林義、横山守）Net223.6
準優勝:16期A（中澤弘志、中島光弘、林盛、吉嶋公人）Net226.4

●平成29年も6月の第3木曜日の15日に芙蓉カントリーで開催致します。
参加希望の方は三上まで連絡下さい（携帯080-1866-6868）

東京だより

八木恵一（18期／当番幹事代表）、佐伯和哉（31期／東京同窓会幹事長）

【第38回札幌市立高女・札幌東高　東京同窓会　総会・懇親会】

昨年11月8日に平成27年度の東京同窓会　総会・懇親会を、西新宿のサクラダイニング東京(THE SAKURA DINING TOYKO)で、東高18期と42期の当番で開催しました。

朝からの冷たい雨にも関わらず、100名の参加となりました。母校から、来賓として大山校長先生、加藤同窓会会長、宇治同窓会幹事長のご参加をいただきました。

懇親会は、「アクティブに生きよう。」をテーマに、2期工藤恒美相談役の乾杯で始まり、17期の料理評論家山本益博氏に北海道をテーマに監修して頂いた料理を堪能しました。

18期の医学博士富野康日己氏の講演「健康に生きるために」・4期畑江竜郎氏の熱唱・18期中森敏行氏の応援団エールなど、盛会のうち終了しました。

今回、初参加の方が増えたのは幸いでしたが、消息のつかめない同窓生も多く、札幌との情報交換など連携が必要だと感じました。

【東京同窓会について】

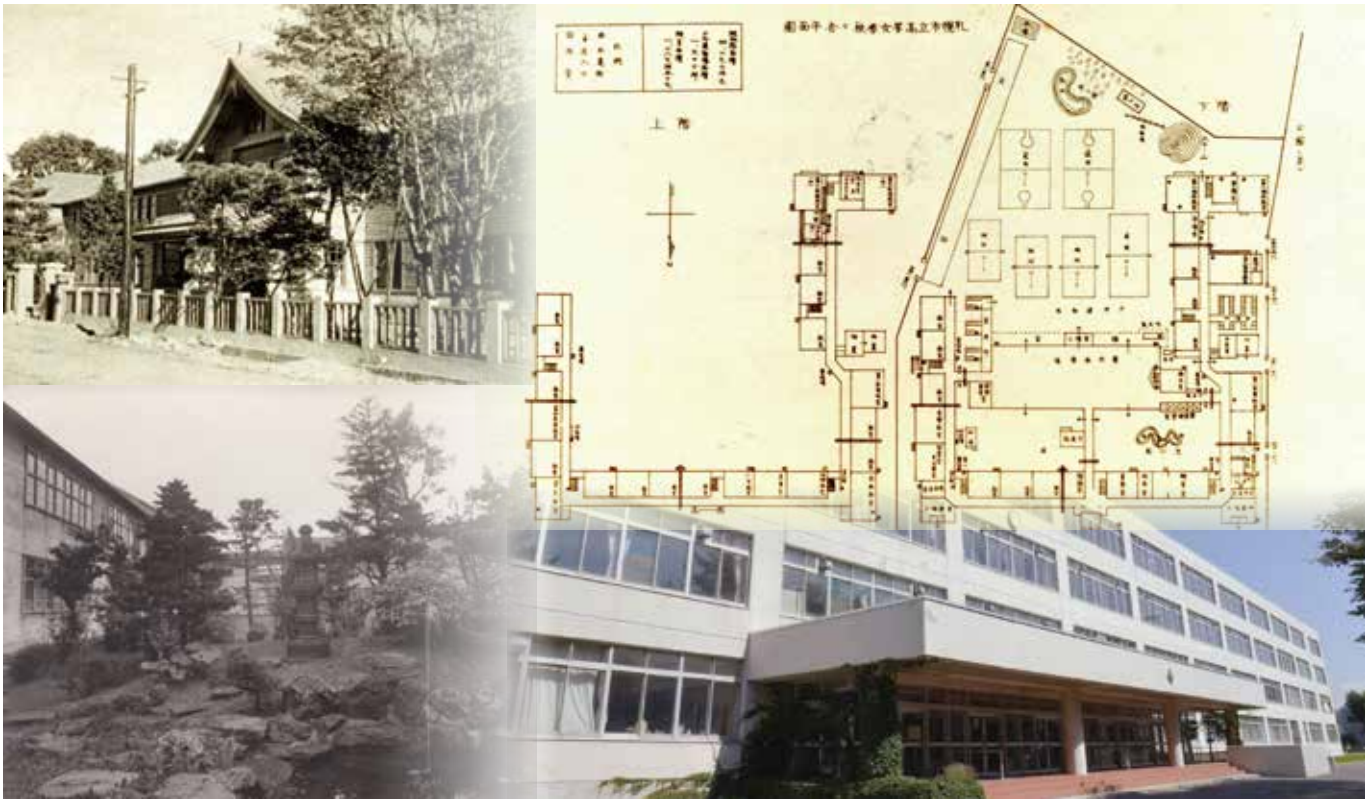
これまで、主に関東圏で活躍する同窓生の交流の場として東京支部の名称で活動をしてまいりましたが、昨年予告しました通り、名称を"東京同窓会"と変更しました。総会・懇親会の他にも、毎年食事会、ボウリング大会、ゴルフコンペ等を通じて会員の交流を図ってきました。昨年からはそれらに加えてハイキングということで、散策を楽しみながらの企画も実施しています。さらに、今年からは落語鑑賞も加わりました。

SNS(Facebook)を使った活動紹介にも、反応が少しずつですが増えてきています。道外にお住いの同期生や、ご親戚の卒業生が居られましたら、ぜひご紹介を頂きたくお願いします。

今年の第39回総会・懇親会は19期と43期が当番期で、現在は19期の皆さんが中心に準備を進めていただいています。恒例となった西新宿の「THE SAKURA DINING TOKYO」を会場として、11月13日に開催します。素晴らしいお食事と楽しい企画で皆さんをお待ちしています。

札幌東高等学校同窓会　平成28年8月　第44号

札幌東高等学校同窓会報



第44号　札幌東高等学校同総会報によせて

北海道札幌東高等学校同窓会 会長 加藤　敏彦

第44号札幌東高等学校同窓会報の発行に当たり、ご挨拶申し上げます。

まず、同窓会会員の皆様には本同窓会に、日頃より温かいご支援ご協力をいただいておりますことに、この紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます。

さて、多くの方々は、大学、高校、小中学校のそれぞれの同窓会に出席をされているのではないかと思います。その中でも、高校の同窓会は、記憶に残る思い出も多く、人生を左右する出来事に遭遇した経験など、多感な時期を共にした仲間たちと再び出会う事の出来る、すばらしい機会だと思っております。

さらには、わが校は明治、大正、昭和から平成の現在まで続く歴史と伝統があり、なかには、親子・兄弟まで東高といったつながりにまでその縁を深めている同窓生がおります。

同窓会の会場に入った時から、あたかも自分たちが過ごした高校生活に戻ったような感じになり、見目形は変わっていても、昔と同じように会話が弾んでいきます。

何年か前の懇親会のタイトルに「タイムスリップ」というのがありましたが、高校時代に戻り、友と過ごした共通の時を楽しんでいるのではないでしょうか。

歴史が増すにつれて、卒業生も増えますが、同時に歴史を刻んだ量も増えます。

今後も、わが校の伝統と歴史を受け継いで次につなげていけるのは、現役の高校生であり、校長先生をはじめとする教職員の方々のご努力であります。

札幌東高校同窓会は、これからも現役高校生や教職員の皆さんを支えていかなければなりません。そのことが、母校への支援であり、自分たちの今に対する恩返しだと思います。

現在、札幌東高校は校舎の老朽化、学習内容の多様化、少子化の影響など様々な問題に直面しております。そのために、同窓会会員の皆様方におかれましては、これからも引き続きのご支援、ご協力が必要であります。

はなはだ言葉足らずではありますが、北海道札幌東高等学校のますますの発展と同窓会会員皆様のご多幸を祈念致しまして、同窓会報発行に当たっての挨拶とさせていただきます。

■同窓会のホームページを開設しています■　http://www.sh-dousou.jp

会　計　報　告

一般会計

（収入の部）

科目	平成27年度決算(H27.7.1～H28.6.30) 予算額	決算額	増減	摘要	平成28年度予算 予算額	増減(対H27予算)
前年度繰越金	520,140	520,140	0	前年度繰越	447,455	▲ 72,685
新入会員会費	1,590,000	1,590,000	0	卒業生318名×5,000円	1,590,000	0
会費	500,000	421,790	▲ 78,210	年会費402名 終身会費2名	420,000	▲ 80,000
支部協力金	40,000	43,400	3,400	東京同窓会 会報印刷負担金	40,000	0
雑収入	899,860	641,469	▲ 258,391	総会準備金戻入　余剰金　名簿・ペナント販売ほか	652,545	▲ 247,315
合計	3,550,000	3,216,799	▲ 333,201		3,150,000	▲ 400,000

（支出の部）

科目	予算額	決算額	増減	摘要	予算額	決算額
事務局費	70,000	44,520	25,480	交通費　アルバム（記録保存用）	50,000	▲ 20,000
事務用品費	20,000	22,360	▲ 2,360	ラベルシート インク プリンター	20,000	0
印刷費	100,000	71,452	28,548	封筒（角2,3）タックラベルデータ整備代	80,000	▲ 20,000
通信費	200,000	161,806	38,194	郵券　往復葉書 メール便郵送料 振込手数料	160,000	▲ 40,000
慶弔費	130,000	150,000	▲ 20,000	転出退職者餞別（13名）寸志（会長分2件）	130,000	0
会議費	750,000	656,790	93,210	役員会・諸会議経費 東京同窓会総会出席交通費	700,000	▲ 50,000
総会関係費	300,000	300,000	0	次年度総会準備金	300,000	0
会報発行費	250,000	226,044	23,956	会報第43号印刷費（A4 P8 3,500部）	230,000	▲ 20,000
学校祭関係費	170,000	141,494	28,506	学校祭協賛諸費（飲み物 展示用花 ラミネート紙）	150,000	▲ 20,000
同期会等助成費	180,000	103,564	76,436	同期会・ゴルフ大会助成（10組織）	150,000	▲ 30,000
新会員関係費	280,000	273,704	6,296	応援団旗・ポール・バンド 第66期応援旗 卒業紅白餅	280,000	0
体育文化助成費等	50,000	50,000	0	体文(20,000円)　学友会(30,000円)	50,000	0
母校行事助成費	450,000	251,958	198,042	「職業人に聞く会」講師謝金 卒業祝鉛筆 難関大訪問引率旅費	300,000	▲ 150,000
ＨＰ構築・維持費	150,000	53,136	96,864	ホームページ更新費用　ホスティング料金	120,000	▲ 30,000
特別会計積立金	200,000	200,000	0	積立金（特別会計口座へ）	200,000	0
予備費	250,000	62,516	187,484	事務局用ノートPC　旧名簿ゴミ処理費	230,000	▲ 20,000
合計	3,550,000	2,769,344	780,656		3,150,000	▲ 400,000

差引の部

収入額合計	3,216,799
支出額合計	2,769,344
差引残高	447,455
摘要	次年度に繰越し

特別会計他積立金決算

項目	26年度末繰越額	増額 金額	増額 事由	減額 金額	減額 事由	27年度末決算額
特別会計積立金	2,944,155	200,000	一般会計より	540	残高証明書	3,143,705
		90	利息	0		
預かり金会計（周年事業基金）	3,010,408	50,000	PTA助成	540	残高証明書	3,059,868
合計	5,954,563	250,090		1,080		6,203,573

（単位：円）

同窓会役員名簿（数字のみの期は東高です）

平成28年8月現在

役職	氏名	期
顧問	丹保憲仁	1
	吉中新太郎	1
	川島大介	8
相談役	小野寺チヅ	高女16
	五十嵐恒夫	1
	水谷洋一	15
会長	加藤敏彦	23
副会長	秦泰子	高女24
	小林幸子	一高1
	氏家保嗣	1
	高木綏子	4
	木部義一	6
	陣内幸則	9
	佐々木信義	12
	相沢徹	15
	中村武信	23
	岸光右	25
	前田晃壱	27
	金子誠二	30
	小田原史佳	31
幹事長	宇治義廣	19
副幹事長	塩野次子	一高1
	松井弘子	6
	諸橋祐一	14
	伊東康博	16
	井浦功雄	18
	里谷彰	19

役職	氏名	期
副幹事長	宮崎直美	20
	鎌田勝幹	21
	鈴木敬久	22
	清水紀子	22
	昔農徹	24
	高橋順一	25
	村木昭彦	27
	野坂美由紀	27
	白崎司	28
	伊藤智	32
	八木野久	37
	廣川未代	37
	森智行	44
監査役	小山國夫	12
	中村紀子	19
常任幹事	中村瞳三四	高女21
	福島久枝	高女26
	大橋桂子	高女27
	里村輝子	一高2
	山崎喜美子	一高2
	五十嵐信彰	3
	伊勢準子	3
	田中啓子	3
	畠山洋巳	4
	佐野康一	4
	新井田弘	5
	秦敬	5

役職	氏名	期
常任幹事	長嶋正俊	6
	赤塚宏三	6
	藤林和夫	6
	西村賢陽	6
	鈴木敬夫	7
	仙波美博	7
	遠藤安倫	8
	中村公子	8
	古山誠子	8
	佐藤公二男	8
	中村敏克	9
	小飼洋三	9
	本田修	9
	中山寛子	11
	若林克弥	11
	渡辺凱子	12
	西部宏	12
	川浪末子	13
	小飼八洲紘	13
	石田昌明	13
	神谷光彦	14
	岡田政義	14
	東恒一	15
	岡部文子	15
	橋本喬史	15
	石垣正子	17
	鈴木裕子	17

役職	氏名	期
常任幹事	野村和夫	17
	北村優明	19
	中林昭人	19
	松井良一	19
	高木勉	20
	陣内恵美子	21
	阿部広美	22
	萩野恵理子	26
	山中まさと	28
	門馬靖倫	28
	北橋佐恵子	30
	富樫勝	31
	杉村祐子	34
	松本聡	37
	重田麻美子	44
	日向寺英彦	44
	駒田健太郎	45
	相澤祐美	53
	古屋亜由美	53
事務局	曲木須麻子	25
	吉岡和彦	29
	望月重典	35
	清水まゆみ	41
	形部眞一郎	48
	原田路彦	23

同窓会 この1年間の活動　平成27年7月1日～平成28年6月30日

■総会開催と関連活動

総会は本同窓会最大のイベントです。昨年は下記の通り開催しました。別掲記事もご参照下さい。

第106回同窓会総会　テーマ『東輪 －よき庭に若き日々を－ 』

平成27年8月22日（土）午後6時総会、6時30分懇親会／於　東京ドームホテル札幌

・総会に先立ち7月7日（火）に拡大幹事会を開催して議案草案審議と会券配布を行いました。

■母校の活動･行事への協賛

・第66回東高祭　平成27年7月3日(金)･4日(土)に同窓会ルームを開設しアルバム･パネル展示、ペナントの販売実施のほか、在校生･来訪者に飲み物を提供しました。

・母校支援として、学友会活動への助成、職業人に聞く会への講師派遣、難関大探訪時の旅費支援、応援団旗の寄贈などを行いました。

・在校生の皆さんに先輩の著作を紹介すべく、同窓生ライブラリー(札東文庫)の開設準備を進めています。

■情報発信･コミュニケーション強化

・昨年の総会開催に合わせて同窓会報第43号を発行しました。

・同窓会ホームページを開設しており、行事の開催などに合わせて記事をアップしています。

・第35回札幌東高校同窓会ゴルフ大会を開催しました。

平成28年6月16日（木）／札幌芙蓉カントリーC　見開きページの記事をご参照下さい。

・「会員名簿」について平成29年発刊を目指しデータの調査･確認を行っています。

・同期会開催ごとに開催各期に助成しています。

・東京同窓会の総会に校長･会長･幹事長が参加、会報で東京･函館の活動を紹介しています。（見開きページ）

■新人の育成

・新入会員入会式を平成28年2月29日（月）に開催、66期卒業生への新幹事委嘱、卒業記念品の贈呈を行いました。

・新幹事研修会を平成28年5月14日（土）に開催しました。下記記事をご参照下さい。

第66期生 新幹事セミナー

平成28年新幹事研修会が5月14日（土）夕刻、例年通りホテルノースシティで開催されました。

加藤会長の挨拶に始まり、今年の総会実行委員からの準備状況報告のあと宇治幹事長の説明で研修が始まりました。

同窓会の仕組み･活動内容の説明、清水先生からの母校近況報告など、今春卒（66期）新幹事の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

その後懇親会に移り、出席者全員の自己紹介ではやや緊張をまじえながらもフレッシュに自己アピールした新幹事の皆さんでした。

新幹事代表の方は、7月の東高祭や8月の総会に参加して今後母校の発展に寄与していきたいと力強く語ってくれました。

札東文庫にご寄贈下さい

在校生の皆さんに先輩ＯＢ･ＯＧとの親近感を持っていただくことを企画し、母校に同窓生が発行した書籍を展示するコーナー（仮称「札東文庫」）を設けようと準備を進めています。

これまでに10件近くの書籍を頂戴しており、引き続きご寄贈を仰いでおりますので宜しくご協力をお願い致します。

･書籍の種類：同窓生が主筆となっているもの（自費出版でも構いません）

･書籍の数：お一人3点以内、各1冊（多くの書籍を出されている方は、書籍のリストをご提出ください）

･寄贈先（送り先）：〒003-0809

札幌市白石区菊水9条3丁目北海道札幌東高等学校内 同窓会札東文庫準備室

（なお勝手ながら、御寄贈の送料についてはご負担をお願い致します）

おくやみ

昨年からこれまでにお亡くなりになった方々は次の通りです（判明分・敬称略）謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

渡邊 芳子（高女14期）	原田 祐光（東高 2期）	加藤 博道 (東高 2期)	小林 孝子（東高15期）
鈴木 敬子（高女 卒業期不明）	松村　肇（東高 2期）	中里 一英（東高 2期）	
横田佐和子（一高 2期）	濱　純夫（東高 2期）	長澤 健作（東高 9期）	
西谷 真樹（東高 2期）	梅沢 亜子（東高 2期）	小野寺義弘（東高 9期）	

※同窓会員の訃報は事務局にご連絡ください（最終面に連絡先記載）

応援団旗を母校に贈りました

応援団旗を披露する宇治幹事長・加藤会長・前田副会長

東高応援団はしばらくその活動が途絶えておりましたが、昨年（2015年）応援団の再興を果たしております。

それを記念して昨年秋に同窓会より応援団旗を寄贈しました。

各種大会開催時は壮行会にその姿を見せ、選手の皆さんを大いに鼓舞しています。

これからも在校生の活躍に力を与えてくれることでしょう。

合唱部 OBと在校生の交流

合唱部では毎年開催する定期公演で、在校生の発表とともにOBが参加しての合唱が披露されます。写真は昨年（2015年）定期公演の模様です。

曲木先生の指揮により、先輩と在校生の交流する歌声は暖かなハーモニーとなって会場に響き渡っていきました。

同窓会事務局から

●会費について

年会費は同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。

年会費は毎年1,000円で総会開催時に払い込んで頂くほか随時受け付けています。

会員の皆さまには総会欠席の場合でも年会費を払い込んで頂くよう、特段のご協力をお願い致します。

●同窓会への連絡・質問・意見はこちらにお寄せ下さい

住所・電話・メールアドレス・勤務先などを変更された時の連絡や、同期会の開催結果連絡、会報の送付希望、その他ご意見などは下記の連絡先またはメールアドレスにお寄せ下さい。

北海道札幌東高等学校同窓会事務局　〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目（札幌東高等学校内）

☎ 011-831-6332　FAX 011-811-3952
事務局担当　吉岡・清水・曲木・望月・形部・原田

メールアドレス　info@sh-dousou.jp
（同窓会HPからも送信できます）

編集スタッフより

会報第44号をお届けします。
表紙には高女時代の校舎平面図を中心に各時代の校舎写真を配しました。
記事では母校と同窓会、在校生とOBのきずなにもフォーカスしました。
今後ともこの会報が広い同窓世代の架け橋となるよう注力して参ります。
お忙しいなか多くの方に原稿をお寄せいただき、大変有難うございました。

編集長　野坂美由紀（東高27期）以下数字のみの期は東高
広報部会　相沢　徹（15期、広報部会長）
小林　幸子（一高1期）　陣内　幸則（9期）　村木　昭彦（27期）　小田原史佳（31期）
廣川　未代（37期）
編集委員　賀好　史織（59期）　小屋畑みずき（60期）　春名恭太朗（63期）

●投稿・新規特集のアイデア・ご意見などお寄せください。●会報編集に携わりませんか。若い世代の方大歓迎です。

全ての世代が、新たな「学び」動機に移行する転換点

北海道札幌東高等学校長　　後藤　哲

同窓の皆様には、ご壮健でご活躍のこととお慶び申し上げます。第44号北海道札幌東高等学校同窓会報の発行に当たり、ご挨拶申し上げます。

平成28年度も知･徳･体の調和のとれた人材育成をめざし、教職員一同、教育活動に全力で取り組んでいます。それに呼応し、生徒も主体的･能動的な学習を身につけるべく、基礎学力はもちろん、思考力、判断力、表現力に磨きをかけているところです。ぜひお気軽にお越し頂き、頑張る生徒を応援ください。

生徒と同様、成人した私たちにも「学び」の継続は、キャリア発達の観点からも大切なことと思っています。今の楽しみを我慢し、明日のために学習することは、経済では投資に当たります。先々のリターンを長期にわたって期待できる若者が、学習という投資に励み、リターンを必要としないシニアが、学び自体を楽しむ消費に向かうのは、世の教育論的･投資論的にも理に叶っています。

ある調査によると学習という投資を止めてしまうのは、43～47歳のミドル層ということです。組織の最前線で多くの若手を預かる世代が、多忙な状況下で学ぶ意欲が触発されない状態に陥っているのは、危機的な状態です。学習に対する投資がピークに達したり、リターンが期待できないこと自体を学習してしまい、学習しようとする動機を喪失してしまうようです。こうして、キャリア展望に格差が生まれ、学び続ける人とそうでない人が生まれ、多様化するようです。

どのような世代でも、新たな学習動機へと移行する重要な転換点と捉えることが大切なのだと私自身痛感します。是非、皆様も高校時代を思い出し、「学び」への動機付けを再稼働し、ブラッシュアップ頂ければと思っています。

学校の評判の蓄積は、レピュテーション･キャピタル（評判によって築かれた無形資産）となり、いざという時に学校を守ってくれる防波堤となり、東高ブランドとなっています。

創立109周年を迎えた本校の歴史と伝統に敬意と感謝の念を心に刻み、今後とも本道を代表するリーダー高として、変化する時代を逞しく生き抜く人材の育成に努めて参りますので、同窓会の皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げご挨拶と致します。

『母校は今』

部活探訪　演劇部の状況

演劇部顧問　吉岡和彦

演劇部は現在、2年生6名、1年生3名の計9名で活動しています。部員は全員女子です。

演劇は大道具作りや力仕事も多いこと、また、もちろん男子の役者も欲しいことから、生きのいい男子の入部を切望していますが、残念ながらいまのところ叶っていません。女子だけでできる台本をさがして練習に励んでいます。

公演は、4月の新入生歓迎公演から始まり、廊下劇、学校祭公演、高文連、クリスマス公演など、年間数回にわたる多様な劇に取り組んでいます。　写真はつい先日行われた学校祭公演（刑事物）の様子です。技術的にはまだまだですが、全員毎日体育系の部活に負けないくらい一生懸命練習に取り組んでいます。

学校祭、クリスマス公演等は一般公開もしていますので皆さん是非足をお運び下さい。

平成28年度前期　部活動　主な大会への出場

●高体連･高文連全道大会出場

女子バレー部　男女ソフトテニス部　体操部
卓球部　剣道部　陸上部　水泳部　放送部

●全国大会出場決定

陸上部　文芸部　放送部

卒業生の主な進学先

卒業時期	国公立大学					私立大学			短大・各種学校	就　職
	道　内	（北大）	道　外	（東大）	合　計	道　内	道　外	合　計		
平成28年3月	94	40	42	0	136	37	26	63	8	2
平成27年3月	128	75	42	0	170	47	18	65	8	0

母校のホームページを開設していますので、詳しい戦績・進路先などはHPをご覧下さい

http://www.sapporohigashi.hokkaido-c.ed.jp/

早くも１年･･･。

第106回札幌東高同窓会実行委員長 32期　山崎 量平

OJI-BAND（オジバンド）ミニライブ

東高応援団OB有志による懐かしい演舞

第106回市立高女、市立第一、札幌東高同窓会総会･懇親会は、平成27年8月22日（土）、東京ドームホテル札幌にて370名を超える恩師･同窓生の出席のもと盛大に開催されました。

開催に向け、1月に実行委員会を立ち上げて以来、東高32期、46期、55期の当番期実行委員が数々の打ち合わせを重ね、一丸となって準備を進めました。

同窓会のテーマは多数決により「東輪（とわ）－よき庭に若き日々を－」に決定しました。旧校舎の象徴であった「中庭」を新校舎世代にもイメージしてもらいつつ、今後も東高同窓生の輪（繋がり、絆）を大切にしたいという思いを込めました。

そして、迎えた8月22日の本番では、懇親会冒頭の挨拶で、私が緊張のあまり話す内容を間違えてしまい、冷や汗をかきながら何とか取り繕ってしまいましたが、18期の先輩達を中心とした「OJI−BAND（オジバンド）」によるミニライブや東高応援団OB有志による演舞が宴を大いに盛り上げてくれました。

この様に無事懇親会を開催し、実行委員長の大役を果たすことができたのも、加藤同窓会長、宇治幹事長、東高の吉岡先生をはじめ、恩師、同窓生の皆様、そして実行委員を引き受けていただいた当番期有志のご支援･ご協力の賜であり、改めて心から感謝を申し上げます。

32期有志によるミニライブ

今年度の第107回同窓会･懇親会も盛会となるとともに、今後も益々、東高同窓会が発展していくことを祈念申し上げます。

同期会開催状況

数字のみの期は東高です

平成27年	9月5日	19期	ニューオータニイン札幌
平成27年	10月5日	6期	札幌東急REIホテル
平成27年	10月9日	一高2期	ホテルノースシティ
平成27年	10月23日	7期	札幌第一ホテル
平成28年	5月28日	14期	東京渋谷（写真）
平成28年	6月5～6日	5期	三川屋会館
平成28年	6月6～7日	8期	湯本第二名水亭
平成28年	6月29日	2期	三川屋会館

14期同期会（東京渋谷）

14期ではHPを開設しています。
http://stonko14.welcomey.jp/

ほかの期でもHPを開設されましたらURLをご連絡下さい。

●助成金について

同期会の開催には交流拡大を目的とした助成金制度があります。ぜひご利用ください。

・基準:卒業期全体を対象とする同期会とし、年1回に限る。（地域又は一部を対象とする会は除外）
・金額:1回につき1万円（ただし初回のみ3万円）
・手続:同期会開催通知（案内状等）に参加（予定）人数と銀行振込口座を付記して、事務局へ郵送またはファックス送信する。振込先は、同期会代表者または会計担当者とする。
※同窓会事務局の連絡先は最終面「同窓会事務局から」を参照

●開催結果は　同窓会メールアドレス　info@sh-dousou.jp　または事務局にご寄稿ください。

第67回東高祭の同窓会展示ルーム

<7月8日・9日>

いつもながら卒業アルバム展示が大人気です！

在校生は趣向を凝らしたファッションで訪れてくれました

※毎年7月上旬の東高祭に同窓会展示ルームを開設していますのでぜひおいで下さい。

函館だより

菜畑 憲次郎（15期）

昨年10月24日（土）に平成27年度（第75回）の札幌市立高等女学校、札幌市立第一高等学校ならびに北海道札幌東高等学校の同窓会函館支部総会・懇親会が、古川佑子支部会長ほか5名の会員出席のもと、函館市豊川町の欧風料理屋「紫ぜん」において開催されました。

「紫ぜん」は、明治期から函館の港として栄えてきたベイエリアの明治館向かいにある蔵造りが魅力のお店です。窓越しに見える通りには外国人観光客が多数行き来して、大変賑わっている様子がうかがえました。

掘りごたつの和室にてテーブルを囲んでの総会に引き続いて懇親会へと進められました。

今回も急きょ欠席の方がおられ少人数ではありましたが、支部会員の動向などを皆様で確認し合った後、一年間の近況や趣味・旅行の話、また健康・体調の話やご家族の話など大変盛り上がった楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

会の終盤には、翌年の同窓会函館支部開催に向けた意見交換へと移り、特にご高齢の先輩の体調を考慮しての開催時期や時間帯の再考を次回役員会で検討することとして、閉会いたしました。

また待望の北海道新幹線が3月26日に開通し、歴史の街・温泉とグルメの街函館は、本部同窓会・東京同窓会の皆様方のお越しをお待ちしております。是非ご来函ください!

末筆ですが、本部並びに東京同窓会のご繁栄と皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。

第３５回同窓会ゴルフ大会

ゴルフ部会長 19期 三上 義行

6月16日（木）札幌芙蓉CCにて17組58名が参加して盛大に開催。

少しの雨と、多少の風のもと1期から32期までの同窓が楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

同窓会よりのご寄付ありがとうございました。

＜個人戦＞

優　　勝：中澤　弘志（16期）Gross90、Hdcp18.0 Net72

準 優 勝：吉嶋　公人（16期）Gross92、Hdcp19.2 Net72.8

ベスグロ賞：森　　成一（21期）Gross85

＜団体戦（Best3合計）＞

優　勝：12期Ａ（庵原宏章、小西正保、小林義、横山守）Net223.6

準優勝：16期Ａ（中澤弘志、中島光弘、林盛、吉嶋公人）Net226.4

●平成29年も6月の第３木曜日の15日に芙蓉カントリーで開催致します。参加希望の方は三上まで連絡下さい（携帯080-1866-6868）

東京だより

八木恵一（18期／当番幹事代表）、佐伯和哉（31期／東京同窓会幹事長）

【第38回札幌市立高女・札幌東高　東京同窓会　総会・懇親会】

昨年11月8日に平成27年度の東京同窓会　総会・懇親会を、西新宿のサクラダイニング東京(THE SAKURA DINING TOYKO)で、東高18期と42期の当番で開催しました。

朝からの冷たい雨にも関わらず、100名の参加となりました。母校から、来賓として大山校長先生、加藤同窓会会長、宇治同窓会幹事長のご参加をいただきました。

懇親会は、「アクティブに生きよう。」をテーマに、2期工藤恒美相談役の乾杯で始まり、17期の料理評論家山本益博氏に北海道をテーマに監修して頂いた料理を堪能しました。

18期の医学博士冨野康日己氏の講演「健康に生きるために」・4期畑江成郎氏の熱唱・18期中森敏行氏の応援団エールなど、盛会のうち終了しました。

今回、初参加の方が増えたのは幸いでしたが、消息のつかめない同窓生も多く、札幌との情報交換など連携が必要だと感じました。

【東京同窓会について】

これまで、主に関東圏で活躍する同窓生の交流の場として東京支部の名称で活動をしてまいりましたが、昨年予告しました通り、名称を“東京同窓会”と変更しました。総会・懇親会の他にも、毎年食事会、ボウリング大会、ゴルフコンペ等を通じて会員の交流を図ってきました。昨年からはそれらに加えてハイキングということで、散策を楽しみながらの企画も実施しています。さらに、今年からは落語鑑賞も加わりました。

SNS（Facebook）を使った活動紹介にも、反応が少しずつですが増えてきています。道外にお住いの同期生や、ご親戚の卒業生が居られましたら、ぜひご紹介を頂きたくお願いします。

今年の第39回総会・懇親会は19期と43期が当番期で、現在は19期の皆さんが中心に準備を進めていただいています。恒例となった西新宿の「THE SAKURA DINING TOKYO」を会場として、11月13日に開催します。素晴らしいお食事と楽しい企画で皆さんをお待ちしています。